

# エンバクを利用した脱プラ製品の開発

日本大学生物資源科学部 国際地域開発学科

熱帯資源作物研究室 佐々木大

## 目的・背景

- ・近年SDGs(持続可能な開発目標)に向けた取り組みが重要視されてきている。
- ・環境問題ではプラスチック問題が大きく取り上げられ、プラスチック製品の代替品の開発が進められている

## 内容

ムギ類の茎(ストロー)に注目

↓  
様々な種類のムギ類を栽培し、  
ストローとして適した種類や品種を選抜

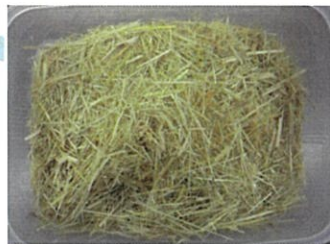
↓  
茎の太さ、本数、においなどから  
**エンバク(燕麦(学名:Avena sativa), オーツ麦)**  
が有力候補に



子実はオートミールに



太い茎はストロー代替品に



残りのワラはチップにしてコースター、皿やバイオコップに

製品は使用後回収し畑へ  
→堆肥化しエンバク畑へ  
→エネルギーと物質の循環

## 今後の計画及び希望

こんな企業の方を探しています

- 稲の茎から効率よく**ストロー加工**ができる
- プレス成形**ができる
- 生分解性プラスチックを用いた**射出成形**ができる



2 飢餓をゼロに



7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



12 つくる責任  
つかう責任



15 陸の豊かさも  
守ろう

